

1. 概要

- ロボット革命実現会議でとりまとめられた「ロボット新戦略」に盛り込まれた災害対応ロボット等の実証プロジェクト。福島県内の橋梁、トンネル及びダム・河川その他山野等を利用してロボットの実証を実施。
- ロボット実証に関してニーズを持つ事業者を広く公募。福島県内の市町村等と調整しつつ、福島浜通り地域で実証区域として受け入れ可能なエリアや施設を「福島浜通りロボット実証区域」として指定し、ロボットの実証を希望する事業者に対して施設等を提供。
- 当区域での実証を通し、イノベーション・コースト構想の検討に資するべく具体的な利用ニーズや規制改革等に関する課題の把握を行い、ロボット・テストフィールドの整備に向けた必要なノウハウ・知見を集積。

2. スケジュール

- (1)平成27年4月1日より、公募開始。
- (2)14の開発事業者から31の実証試験希望が出され、市町村から提案のあった13の実証区域候補とマッチング(10/7時点)。

(活用が想定されるロボットのイメージ)

(1)橋・トンネル・ダム等のインフラ維持管理用ロボット



(橋梁点検)



(トンネル点検)



(ダム点検)

(2)災害状況調査・応急復旧用ロボット



(火山災害調査)



(トンネル崩落災害調査)

(応募があったロボットの例)

無人航空ロボット



無人水上ロボット



無人陸上ロボット



福島浜通りロボット実証区域

3. これまでの実証区域

- 南相馬市の下太田工業用地において、8月12日、実証区域第1号として、(株)MTS&プランニングがドローンの実証試験を実施。
- 南相馬市の横川ダムにおいて、9月14日から16日まで、実証区域第2号として日本原子力研究開発機構、が無人水中ロボットによる実証試験を実施。

* 相馬市、南相馬市、楡葉町では実証試験希望者を集めた現地説明会を既に開催済み

実証区域第1号の様子(8月12日、南相馬市下太田工業用地)



使用したロボット



実証区域第2号の様子(9月14-16日、横川ダム)



使用したロボット



4. 今後の予定

- 南相馬市の「高の倉ダム」において、無人水中ロボット、無人水上ロボットによる実証試験を予定。